

候補地の民有林保護を

原始林との緩衝帯に

BPアクセス道 フォーラム野幌の森、市に要望

【北広島】プロ野球北海道日本ハムのボールパーク(BP)構想に関連し、自然保護団体「フォーラム野幌の森」(五十嵐敏文代表)が5日、市に行った要望は、市が計画するアクセス道路を、国の特別天然記念物「野幌原始林」から離して設けるよう求める内容だ。五十嵐代表らは「BP構想に反対はしていない」とした上で、道路候補地である民有林の保護を求め、「こうした森があれば自然環境に配慮したBPとなり、夢が広がる」と話した。

(須藤幸恵)



北広島市のBPアクセス道路計画

「野幌原始林」は3カ所に分かれた計40haの自然林が建設候補地となっている。市が検討するアクセス道路は、BP予定地と市道大曲榎山線を結ぶ約2km

この日は五十嵐代表ら6人が市役所を訪れ、道塚美彦副市長に要望書を手渡した。五十嵐代表らは、民有林が原始林の生態系を守る緩衝帯の役割を果たしている」と説明し、「できる限り



JR千歳線に隣接してある(歩行者・自転車専用道の)エルフィンロードに寄せたルートに建設を」と要望。さらに、この民有林を買い上げるなどして「ファイターズ」の森」として整備することも提案した。

これに対し、市企画財政部の川村裕樹部長は「まずエリアで環境影響調査をし、原始林に影響の出ないルートを選ぶ方針。今夏から調査を始め、季節ごとの調査結果を基に市環境審議会などで話し合う。同団体は同様の要望書をBP準備会社「北海道ボールパーク」(札幌)にも提出することになっている。

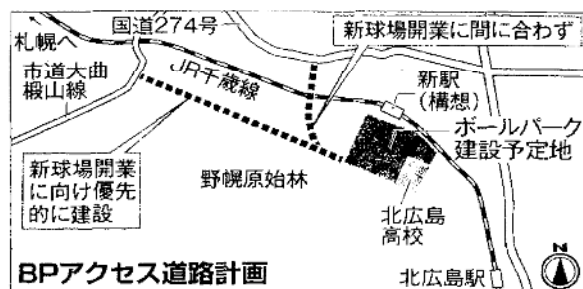
道塚副市長に要望書の内容を説明するフォーラム野幌の森のメンバーは要望内容を精査したい。その上で、道や国など関係機関とも協議しながら、環境調査を踏まえてルートを決めたい」と話した。

イメージ図

アクセス道路ルート

ファイターズの森





北広島BPアクセス道路

原始林への影響懸念

保護団体、市へ指摘

【北広島】プロ野球北海道日本ハムの新球場を含むボールパーク(BP)構想で、建設候補地の北広島市が計画するアクセス道路について、自然保護団体が国の特別天然記念物「野幌原始林」の生態系に影響するとの懸念を市に伝えていたことが分かった。市は新道を原始林から数十メートル離して建設するとともに、道路沿線を開発できないよう土地を購入して「緩衝帯」を設けることなども検討するが、費用面の懸念から具体化には至っていない。

BPの建設候補地「きたひろしま総合運動公園」予定地(37㊦)へは観客のおよそ3分の2がマイカーやバスなどを利用すると見込まれており、市は渋滞緩和のため2本のアクセス道路の新設を計画。このうち、BPから市道まで西に延びる2㊦の新道を2023年春の開業に間に合うよう優先的に整備したい考えだ。

ただ、市道とを結ぶ新道は直線だと野幌原始林近くを通る。このため、江別市の自然保護団体「フォーラム野幌の森」(五十嵐敏文代表)は、原始林への外来種の侵入や車の騒音、振動などで、野生生物の生息環境が悪化することを懸

念。5月末に市役所を訪れ、道路を原始林から離すだけでなく、市が球団が道路と原始林の間の民有地を購入して緩衝帯を設けるよう提案した。

野幌原始林はJR千歳線南側に3カ所に分かれて広がる自然林で、計約40㊦。国の天然記念物クマガエラをはじめ国や道のレッドリスト指定種などの野生生物が確認されている。道の自然保護監視員で北広島担当の森下徹さん(48)も「都市部に近い平地に原始林が残る貴重な地域」と指摘し、生態系への影響を懸念する。

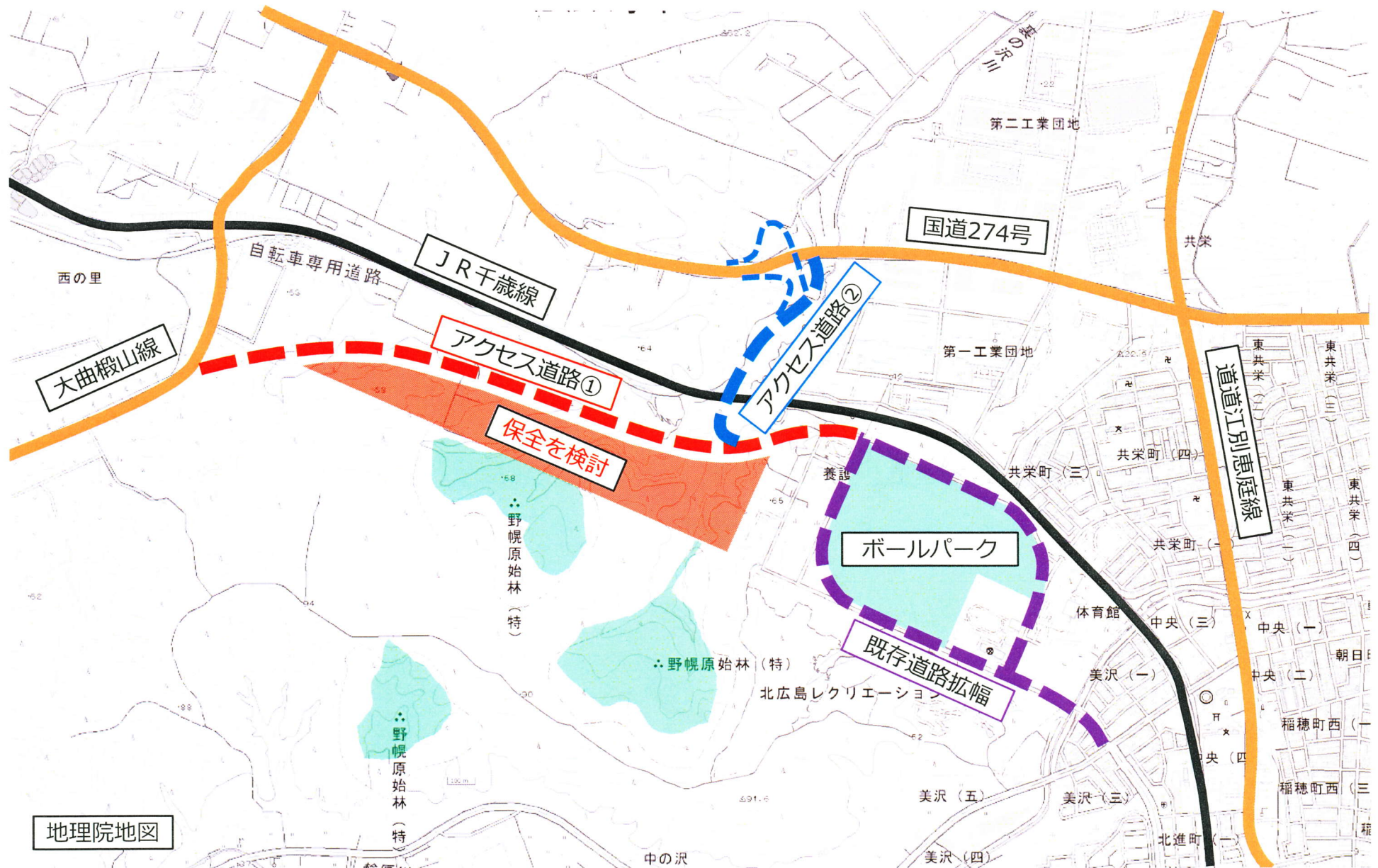
市は今夏からBPの建設候補地と新道の環境影響調査を行い、最終的なルートを決める。数十㊦幅の緩衝帯を設けることも検討するが、用地取得は市の財政負担が増えるため、具体的な検討に入っていない。市ボールパーク推進室は「7月からの住民説明会で理解を求めていく」と話している。

市は球場からJR線路を越えて国道に延びるもう1本のアクセス道路も計画。陸橋など大がかりな工事が必要ないため、開業には間に合わない見通し。2本の新道を道道か市道のいずれにするかは、今後関係者と協議する。(石田礼)

道路整備予定

北広島市提示の保全案

意見交換会 2019年2月12日



野幌原始林 指定範囲拡大

文化審答申 BPPアクセス道隣接

特別天然記念物

文化審議会(佐藤信会長)は21日、史跡名勝天然記念物11件を新たに指定し、指定済みの28件について対象や範囲を広げる「追加指定」などとするよう柴山昌彦文部科学相に答申した。道内関連では特別天然記念物の野幌原始林(北広島市)と、史跡のキウス周堤墓群(千歳市)を、それぞれ追加指定するよう求めた。早ければ9月下旬にも追加指定される見通し。
(尾張めぐみ)

千歳の史跡キウス墓群も

野幌原始林の追加指定区域はプロ野球北海道日本ハムの新球場を中核とするボールパーク(BP)の建設予定地につながるアクセス道に隣接。自然保護団体などから工事の影響を懸念する声が出ていたが、北広島市が保全に向けた維持管理に取り組みとして、環境への影響は最小限に抑えられると判断された。

【北広島】文化審議会が北広島市にある国の特別天然記念物、野幌原始林について、近隣の山林を追加指定するよう答申したのは、北海道日本ハムの新球場を核とするボールパーク(BP)へのアクセス道路との間に「緩衝帯」を設けることで、現在の指定区域を保全する狙いがある。

野幌原始林 従来区域保全の「緩衝帯」

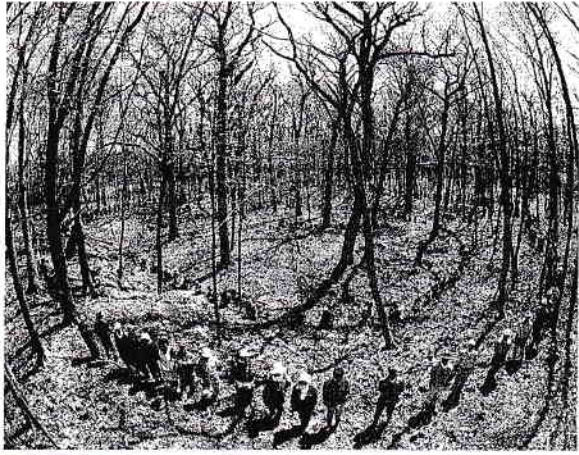
消失した石狩平野に残る唯一の原生的な針広混交林で、1952年に約40畝が特別天然記念物に指定された。追加指定の区域は約20畝で、昭和初期に伐採歴があるものの植生の回復が良好で、重要な森林であると評価された。

追加指定の区域は、BPへのアクセス道と現在の指定区域に挟まれた場所に位置する。北広島市は指定区域に史跡の新球場を建設する計画だったが、車の通行による外来種の持ち込みなど環境への影響を配慮し、約200畝離れたルートに変更した。

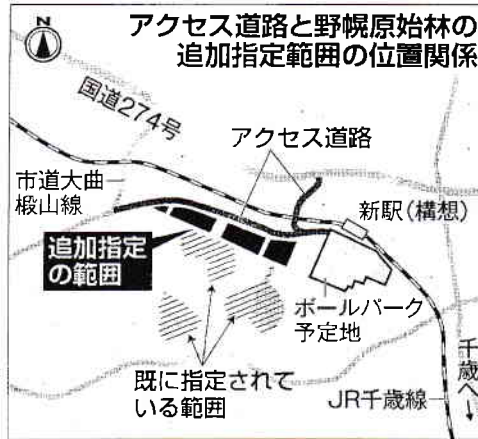
今回の追加指定は、変更後のアクセス道路のルートと現在の指定区域の間に約20畝の山林を指定する。追加指定により、拡大された野幌原始林の横を道路が通ることになるが、追加区域は植生が回復しているものの過去に伐採履歴があり、手付かずの原生的な森林が残る現在の指定区域とは違いがある。文化庁文化財第二課は「北広島市が原始林の保存活用計画を策定してしっかり管理していくことで、環境への影響は最低限に抑えることができる」と話す。



特別天然記念物に追加指定された野幌原始林



史跡に追加指定されたキウス周堤墓群(道立埋蔵文化財センター提供)



追加指定の範囲は、アクセス道路と現在の指定区域の間に「緩衝帯」を設けることで、現在の指定区域を保全する狙いがある。今回の追加指定は、変更後のアクセス道路のルートと現在の指定区域の間に約20畝の山林を指定する。追加指定により、拡大された野幌原始林の横を道路が通ることになるが、追加区域は植生が回復しているものの過去に伐採履歴があり、手付かずの原生的な森林が残る現在の指定区域とは違いがある。文化庁文化財第二課は「北広島市が原始林の保存活用計画を策定してしっかり管理していくことで、環境への影響は最低限に抑えることができる」と話す。

(須藤幸恵)

きたひろしま総合運動公園線沿線の土地利用について



◆北広島市では、用地の取得などによりアクセス道路周辺の緑地の保全に取り組んでいる。



図27. きたひろしま総合運動公園周辺の土地利用

- 用地1 市有地として取得し、天然記念物に追加指定。「北広島市天然記念物野幌原始林調査委員会」にて管理計画策定中。
- 用地2 道路とその周辺の用地を取得。道路周辺の開発防止と、天然記念物のバッファゾーン形成を目的として保全・現状維持。
- 用地3 既存の市有地。一部を水辺の広場としていたが、現在工事により閉鎖。工事後に公園として再利用するかは今後検討。
- 用地4 取得した用地と既存の市有地で、「ボールパーク周辺緑地利活用懇談会」における利活用検討区域（案）。
- エリアA 工事用道路・工事ヤードは植生復元・モニタリングを実施（協議会による決定）。
- エリアB エリアAと同じ。水辺の広場と隣接しており、植生復元後に公園として再利用するかは今後検討。
- エリアC 工事用道路を取り付け道路として残置。

フォーラム野幌の森提案の「ファイターズの森」の趣旨は概ね実現し、「野幌原始林」の保全に寄与している。